

万博コラム

7

関西国際博覧会協会
総合コンタクトセンター
(☎ 0570-200-066)

ユニークな万博 建築を巡る楽しみ

(博覧会協会・西本敬一)



ユニークな建築を巡るのも、万博の楽しみの一つです。

最大の目玉は、世界最大級の木造建築物、大屋根リング。1周約2kmの巨大リングは、会場内のメイン通路であると共に、大屋根の上にも昇れます。リングの上からは、世界中のパビリオンを、あたかも地球儀を見るかのよう眺めることができます。また、夕方には、瀬戸内海に沈む美しい夕日をご覧ください。

愛・地球博では、タイプAと呼ばれる独自に建てる海外パビリオンは0

でした。今回は55年ぶりにご覧頂けます。例えば、中東のカタールパビリオンは、日本の建築家、隈研吾氏の設計で、伝統的な帆船と日本の伝統的な指物の技術を融合させたユニークな外観です。

若手建築家にもチャレンジの場を提供しています。70年万博では、当時30代の黒川紀章氏や磯崎新氏が万博に参加し、その後の活躍のきっかけとなりました。今回は20名もの若手建築家の方々が、トイレやステージ等、20カ所の施設の設計にチャレンジしています。